

主治医対象アンケート結果

1. 調査目的

主治医の先生方のご意見・ご要望をお聞きし、訪問看護師・理学療法士として意識を高め、質の良い看護を提供するため

2. 調査実施日

令和3年3月1日～令和3年3月15日

3. 調査対象

主治医(令和3年2月28日現在)

4. 調査方法

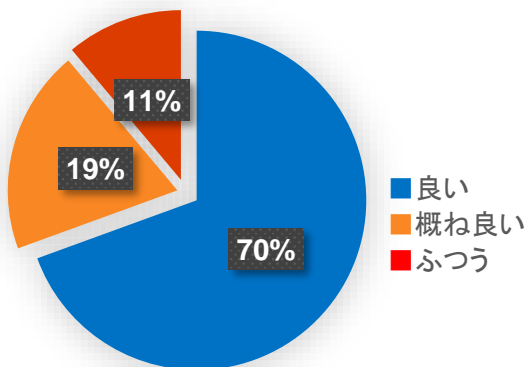
郵送または手渡しで配布、郵送または手渡しで回収

5. 回答状況

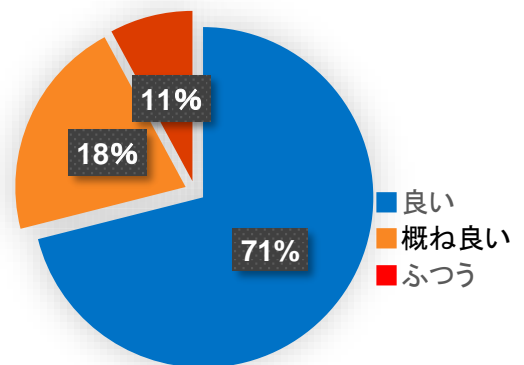
配布数 48、回答数 38、回収率 79.2%

訪問看護ステーションりんどうの訪問看護師、理学療法士についてお答えください

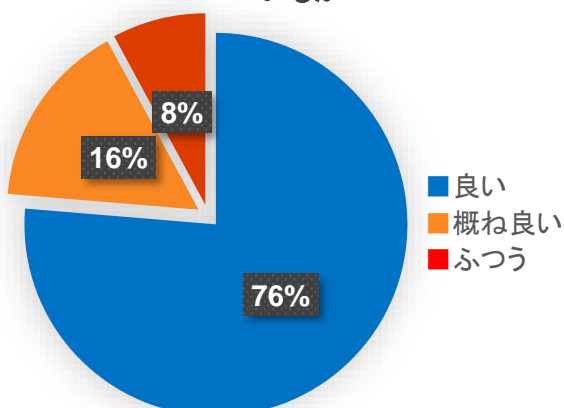
1. 利用者との接し方、話し方、説明の仕方は良いか



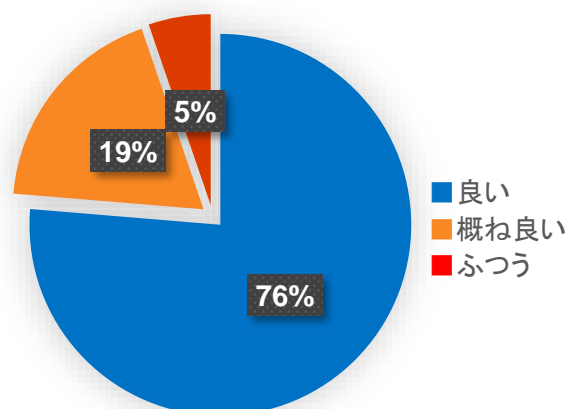
2. 医療技術、ケア内容は妥当か



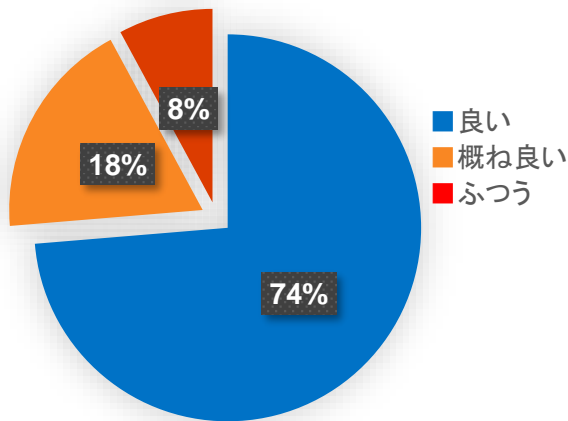
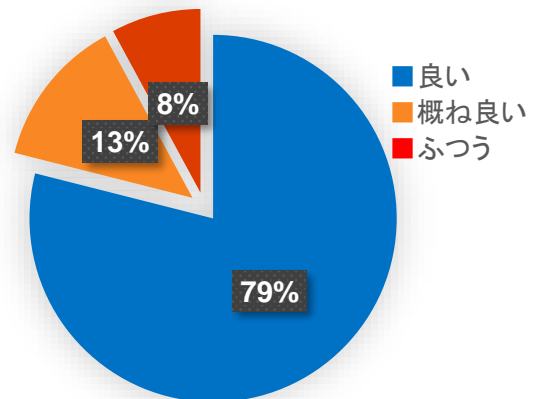
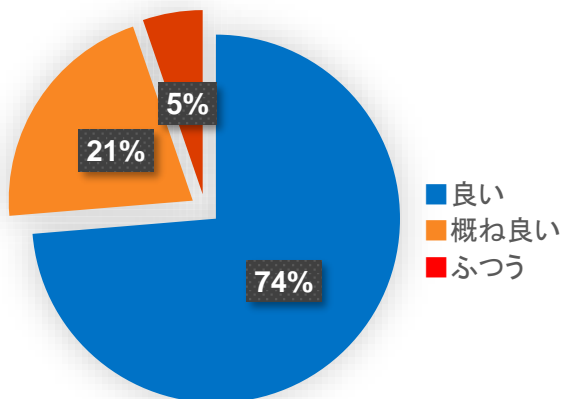
3. 利用者の疾患の理解ができているか



4. 病状を予測して指示を仰ぐタイミングは適切か



5. 医師への報告・連絡・相談

6. 利用者と家族を取り巻く
困りごとを伝えられているか7. 緊急時に迅速・的確な
対応ができていますか

平成30年度アンケート結果と比較すると、「良い」の回答が、多くの項目で10%程度向上しております。

「医師への報告・連絡・相談」、「利用者と家族を取り巻くお困りごとを伝えられているか」の項目では、「良い」が6%程度低下していました。

全設問において「良い」、「概ね良い」が90%以上を占めており、先生方視点での訪問看護として期待に添える結果が得られているのではないかと感じております。

先生方にはお忙しい中、沢山のコメントを頂きありがとうございました。

平成30年実施のアンケート結果と比較して、具体的なご意見を多く頂けたことに感謝しております。様々な病態の利用者様との関わりを挙げてくださり、振り返りのきっかけになります。

評価を頂いている医師連携、スタッフ間連携、迅速な対応などは、今後も変わらず実行できるよう努めてまいります。また、アンケートの実施方法についても複数ご提案をいただきました。次回の参考にさせていただきます。

貴重な意見を真摯に受け止め、スタッフ一同、利用者様が安心して在宅の生活が続けられるように、また素早い対応が出来るように努めていきます。

コロナ禍にて予測のつかない状況の元、様々な対応に苦慮する日々ではありますが、今後も利用者様の在宅生活支援において、「訪問看護」が必要な方に届けられるよう精進いたします。